

授業①

対立の時代に生きる

— これからの時代の平和のために私たちが知っておくべきこと —



講師 西川 由紀子

(同志社大学グローバル・スタディーズ
研究科教授)

1

愛・知・みらいフォーラム
夏休み国際理解教育特別講座

今、地球社会が抱える問題を考える
—地球市民をめざして—

対立の時代に生きる
—これからの時代の平和のために私たちが知っておくべきこと—

同志社大学
Doshisha University

グローバル・スタディーズ研究科
西川 由紀子

2

どのような平和を達成したい？

平和 =

A) 互いに殺したり暴力をふるったりしない
状況

B) 国やコミュニティが経済的、政治的、文
化的に発展して、個人は、それぞれ自
己実現ができ、精神的にも充実している
状況

3

平和：三つのタイプ

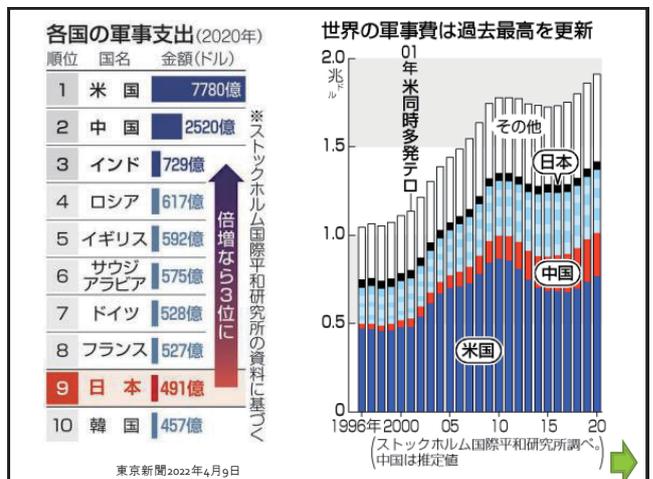
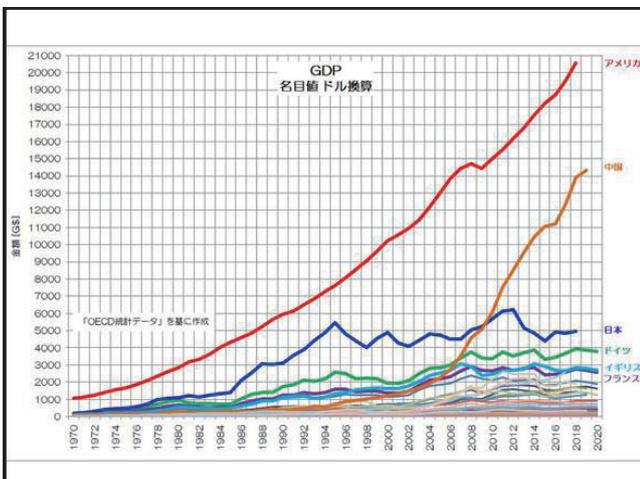
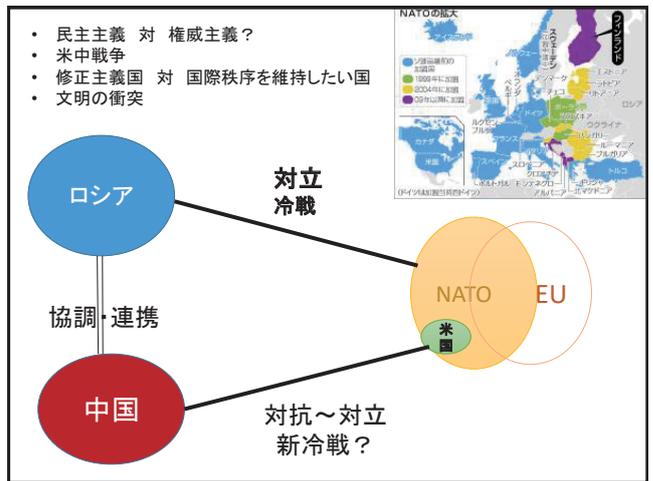
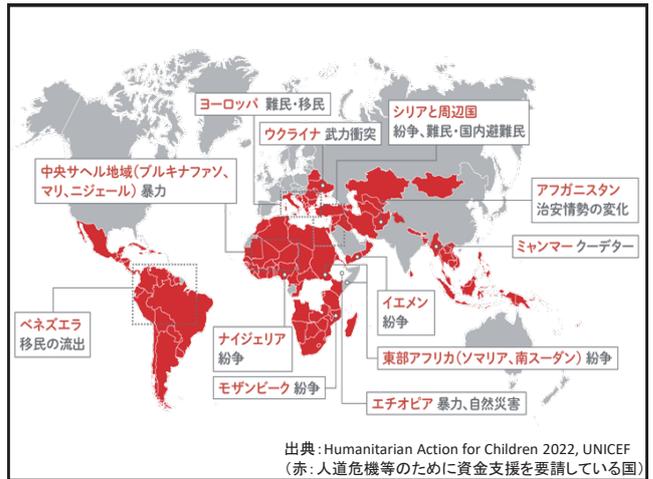
1. 「パックス」(‘Pax’) =
戦争や暴力がない状況
2. The tranquility of good order =
秩序ある平穏・静けさ
=正義ある平和
3. 「シャローム」(‘Shalom’) =
社会的にも精神的にも満たされた
安らかな状態=全てのレベルにお
ける平和

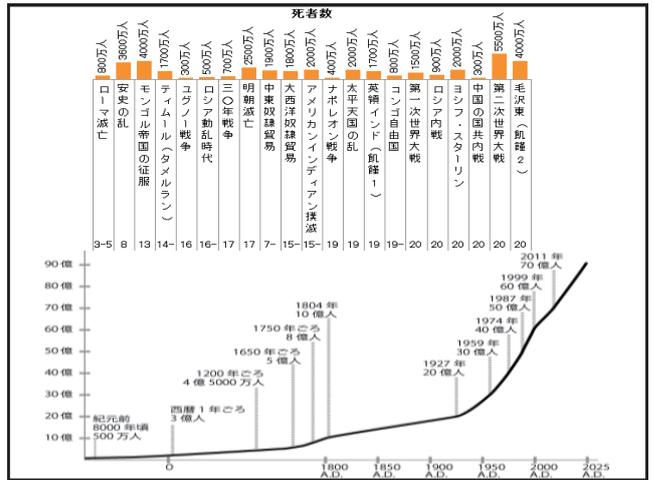
4

1. 今の世界はどうなっている？
2. 先人が築いたルール
3. これからの課題



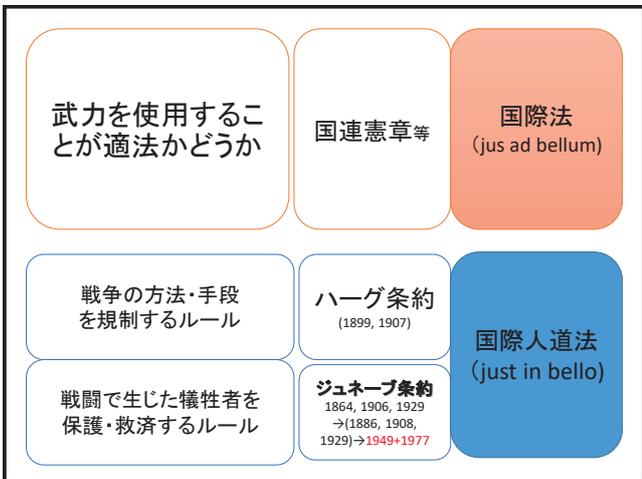
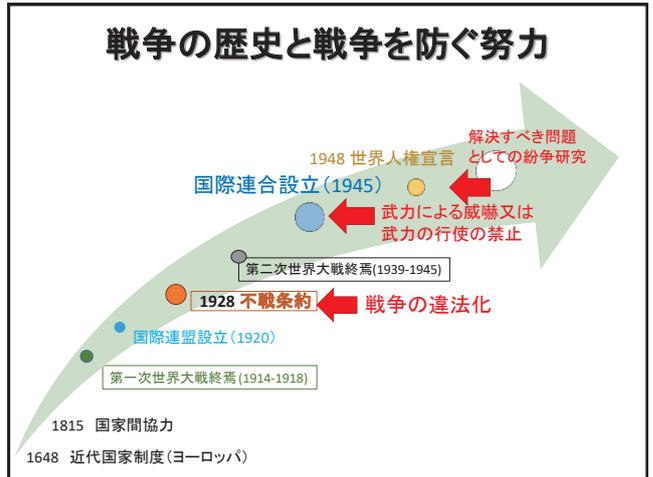
1. 今の世界はどうなっている？





平和に関する著作 (16C~18C)

- 1517 The complaint of peace (Querela Pacis)
- 1623 Emeric Cruce, The New Cyneas (国際関係)
- 1625 フーゴー・グロティウス, 『戦争と平和の法』 (De jure belli ac pacis)
- 1693 ウィリアム・ペン, 『ヨーロッパの現在と未来の平和に向けて』
- 1761 ジャン・ジャック・ルソー, 戦争論/平和論 (『戦争法の諸原理』に『永久平和論抜粋・批判』)
- 1795 イマヌエル・カント, 『永遠平和のために』



国際連合(国連)憲章

前文

- 第1章 目的及び原則
- 第2章 加盟国の地位
- 第3章 機関
- 第4章 総会
- 第5章 安全保障理事会
- 第6章 紛争の平和的解決
- 第7章 平和に対する脅威、平和の破壊及び侵略行為に関する行動
- 第8章 地域的取極 ... 第19章まで

武力行使禁止原則

国連憲章は、以下の2つの状況を除いて武力を使うことを禁止している。

1. **自衛のための(第51条)**：国際連合加盟国に対して武力攻撃が発生した場合には、安全保障理事会が国際の平和及び安全の維持に必要な措置をとるまでの間、個別的又は集団的自衛の固有の権利を害するものではない。
2. **平和に対する脅威、平和の破壊及び侵略行為があるとき(第7章)**：安全保障理事会は、第41条に定める措置では不十分であろうと認め、又は不十分ことが判明したと認めるときは、国際の平和及び安全の維持又は回復に必要な空軍、海軍又は陸軍の行動をとることができる(第42条)。



3. これからの課題

1. 国と国との間で生じる**戦争を規制するルール**を守るにはどうすべきか？改善すべきところは？
2. 国と国の間で決めた**ルールを守らない国**とどう共存していくのか？
3. **一つの国の中で生じた武力紛争**をどう効果的に予防し、規制していくのか？



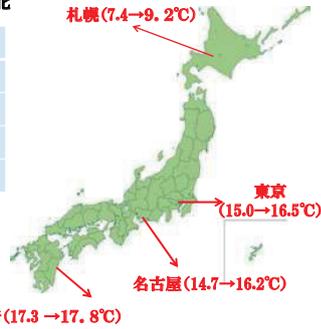
<② 日本の気温は確実に上昇している>

各都市における過去50年間の気温の変化

都市名	1971年	2021年	気温差
札幌	7.4	9.2	1.8
東京	15.0	16.5	1.5
名古屋	14.7	16.2	1.5
宮崎	17.3	17.8	0.5

(注1) 1971年の気温:1941年~1970年までの30年間の平均値
 (注2) 2021年の気温:1991年~2020年までの30年間の平均値

(出典) 気象庁データから作成



* 気温の上昇の原因→地球温暖化+都市温暖化(ヒートアイランド)

<③ 地球温暖化の進行状況と温暖化による影響>

<地球温暖化の進行状況>

- 1880年~2012年(132年間)までに世界の平均気温は0.85℃上昇
⇒ 気温上昇が人間活動に起因する可能性は95%以上
- 海面水位は1901年~2010年(109年間)までに19cm上昇

<地球温暖化による今後の影響予測>

- 今世紀末までに 気温は0.3℃~4.8℃上昇、海面水位は26~82cm上昇

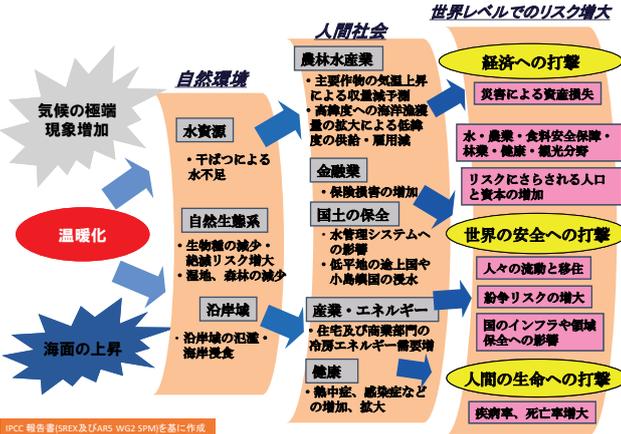
<地球温暖化による影響>

- 異常気象...集中豪雨の増加、夏期の海水の増加、台風の大型化など
- 生態系...陸上・淡水での生態系の崩壊、サンゴ礁への影響など
- 人間社会...熱波による高齢者の死亡増加、感染症の拡大など

(注) IPCC第5次評価報告書から作成

<④ 気候変動によるグローバルリスク>

世界レベルでのリスク増大



IPCC報告書(SREX及びWG2 SPM)を基に作成

<⑤ 地球温暖化による健康影響>

- 温暖化の進行等により水河などに封印されていた病原体等の活性化

- (感染経路) ①渡り鳥や魚が運搬
②渡り鳥の糞に覆ったものが家畜や動物に感染
③それらを通じて人間に感染

- 感染症媒介昆虫などの分布域の拡大と感染力の増大

新興感染症: エイズ、エボラ出血熱、狂牛病、SARA等

再興感染症: ペスト、結核、コレラ、マラリア等

- ①マラリア: ハマダラカ
- ②アング熱: ヒトスジシマカ等 (2014年、69年ぶりに日本で発生)
- ③瘧疾: 節足動物
- ④腫瘍: ネズミノミ
- ⑤コレラ: コレラ菌に汚染された食物や水を摂取
- ⑥MERS: コロナウイルス⇒ヒトアブラガ等

- 熱帯林に閉じ込められていた病原体が、開発により人間と接触することによって分布域が拡大



毎年気温が1℃以上の地域に定住し、分布域は温暖化によって拡大する

<⑥ 地球温暖化による気候システムの急変事例>

① グリーンランド・南極における氷床の不安定化

- ・ グリーンランドと南極においては、最近10年間の氷床の質量が過去に比べて明らかに減少している。
- ・ グリーンランドの氷床は、夏季における氷の融解により、地表面での日射の反射率が低下してより日射を吸収しやすくなること、雪氷の表面温度が上がって表面気温が高くなることにより、融解を更に促進するフィードバックがあるため、気候が一定以上温暖になる状態が続くと氷床の融解が急激に進むおそれがある。
- ・ 南極では、氷床から突き出た棚氷が切り離されたり、氷床の底が融けて潤滑油のような働きをしたりすることで、流出が加速すると考えられる。特に南極西側全体は、氷床の底が水深数百以上の海中にあるため、ひとたび氷の後退が進むと海底と氷床の間に海水が入り込み、浮力が弱くなることで後退が加速する。

② 海洋深層大循環の停止

- ・ 海洋深層大循環とは、北大西洋のグリーンランド沖や南極の海水は低温・高塩分のために密度が高いため、深層まで沈み込み、2000年ほどかけて世界の海洋を一周する流れをいう。
- ・ 気候変動により海水温が上がることや、高緯度での降雨の増加等によって海水の塩分が下がることで、北大西洋の海水の沈み込みが止まって、海洋深層大循環全体が停止する可能性がある。
- ・ これにより、北大西洋の暖流が高緯度まで来なくなって、ヨーロッパ全体が寒冷化する等、世界全体の気候に影響を及ぼすおそれがある。



I-(2) 生物多様性の危機

○ 人間活動等は、多くの生物から多くの恩恵を受けている一方で、多くの生物に悪影響を及ぼしている。

..... 現在、地球上には約800万種の生物が生息しているが、そのうち、今後、50万種から100万種が絶滅の危機にさらされる。
(絶滅速度:過去1000万年前と比較し、数10倍~数100倍)

*現在の絶滅のスピード・ケタ違いの早さ 恐竜時代:1000年に1種類 現在:1年に4万種類(人間の活動等)

人間活動により生物多様性が危機に瀕している。

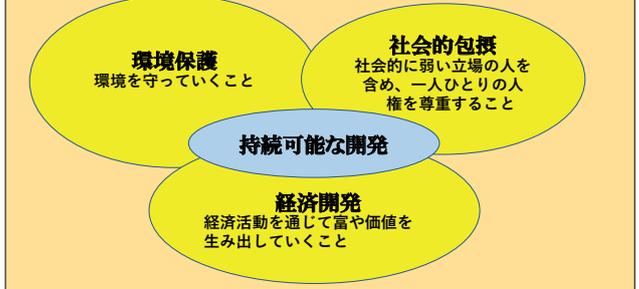
<第1の危機> 開発や乱獲 ⇒生育・生息地の減少 種の減少 生態系の破壊	<第2の危機> 人間活動の縮小に よる自然の質の低下 (里地・里山の管理不足) ⇒生態系のバランスが 変化	<第3の危機> 外来種や化学物 質の蔓延 ⇒日本由来 の種や生態系の 混乱	<地球温暖化による影響> 温暖化による生息環境の 変化 ⇒世界の動植物種の20 ~30%の絶滅リストが 上昇する
---	---	---	--

II 持続可能な社会づくりに向けた取組

II-(1) 持続可能な開発に必要な3要素

○ 「持続可能な開発」とは、「現在の世代の欲求を満たしつつ、将来の世代の欲求も満たせるような開発」

○ そのためには、以下の3要素の調和が必要、どれ一つ欠けてもいけない



II-(2) 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)

- SDGsとは、2015年9月の国連総会で全会一致で採択
- 「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現する
- 2016年~2030年の取組・目標
 - ・ 17のグローバル目標
 - ・ 169ターゲット(達成基準)
 - ・ 232の指標

<参考>SDGsとMDGsの比較

SDGs(持続可能な開発目標) (Sustainable Development Goals)	MDGs(ミレニアム開発目標) (Millennium Development Goals)
2016年~2030年	2001年~2015年
17ゴール・169ターゲット (包括的で、お互いに関連)	8ゴール・21ターゲット (シンプルで明快)
すべての国の目標 (ユニバーサリティ)	開発途上国の目標
国連全加盟国で交渉 実施手段(資金・技術など)	国連の専門家主導

<① SDGsにおける17のグローバル目標>

A grid of 17 small icons, each representing one of the Sustainable Development Goals. Each icon is accompanied by a number and a brief description in Japanese. For example, Goal 1 is '貧困をなくそう' (Eradicate poverty), Goal 2 is '飢餓をゼロに' (Zero hunger), and Goal 17 is 'パートナーシップで目標を達成しよう' (Strengthen partnerships for sustainable development). To the right of the grid is a large circular graphic showing all 17 goals arranged in a ring.

<② 17の目標と「5つのP」>

①People(人間)→貧しさを解決し、健康に



②Prosperity(豊かさ)→経済的に豊かで、安心して暮らせる世界に



③Planet(地球)→自然と共存して、地球の環境を守る



④Peace(平和)

→争いのない平和を知ることから実現

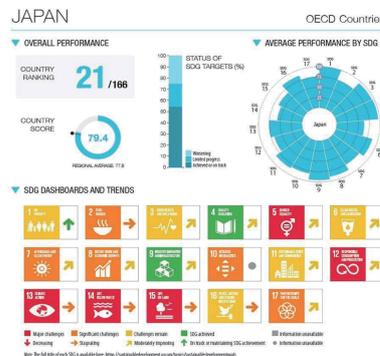


⑤Partnership(パートナーシップ)

→みんなが協力し合う



<③ 日本におけるSDGs達成度評価(2023年6月発表)>



<全世界の達成度>

- ・ 68.4%
- ・ 日本の達成度:64.7%

<世界ランキング>

- ・166か国中21位
- ・ジェンダーギャップ指数 ⇒146か国中125位

<参考>達成度の順番
緑(達成)⇒黄⇒橙⇒赤(深刻な課題が残る)

*世界経済フォーラム資料から作成

II-(3) 地球温暖化防止対策 (カーボンニュートラル社会の実現)

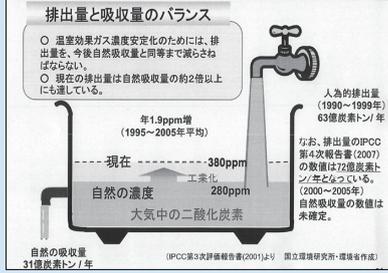
<① 世界の認識>

- パリ協定(2015年採択、2016年11月発効、2020年1月スタート)
 - ・ 共通の目標:産業革命前からの地球の平均気温上昇を2°Cより十分低く抑える(2°C目標)とともに、1.5°Cに抑える努力を継続(1.5°C目標)
 - ・ すべての国が、削減目標を5年ごとに作成・提出し、削減対策を実施する
 - ・ すべての国が、長期の温室効果ガス低減戦略を策定・提出
- 2021年11月に開催されたCOP26(英国)において、パリ協定の1.5°C目標の達成に向けて、今世紀半ばのカーボンニュートラルと、その重要な経過点となる2030年に向けて、野心的な対策を各国に求めるとされた。
- 2022年11月に開催されたCOP27(エジプト)においても、1.5°C目標達成の重要性を認識

<参考>カーボンニュートラルな社会とは

カーボンニュートラルな社会

- ・ カーボンニュートラルな社会とは、温室効果ガスの排出と吸収バランスを達成すること(カーボンニュートラルな社会→人為的な温室効果ガスの排出と植物等による吸収を均衡させる)



<現在の人為的排出量>

- ・ 自然吸収量の2倍以上
- 自然吸収量 31億Ct/年
- 人為的排出量 72億Ct/年

<世界は「低炭素社会」から「脱炭素社会」へ歴史的な大転換>

<② あいち地球温暖化防止戦略2030(改定版)策定の経緯>

- 1994.3 あいちエコプラン21
- 2000.3 あいちエコプラン2010
- 2005.1 あいち地球温暖化防止戦略
- 2012.2 あいち地球温暖化防止戦略2020

2018.2 あいち地球温暖化防止戦略2030

- ・ 目標: 2030年度の温室効果ガス総排出量を2013年度比で26%削減
- ・ 長期目標: 2050年頃に持続可能な低炭素社会を実現する



国のカーボンニュートラル宣言や、温室効果ガス排出削減目標の引き上げ等を踏まえて戦略2030を改定

2022.12 あいち地球温暖化防止戦略2030(改定版)

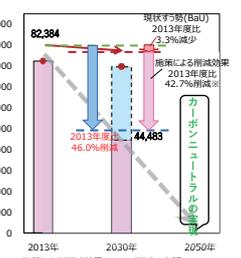
- ・ 目標: 2030年度の温室効果ガス総排出量を2013年度比で46%削減
- ・ 長期目標: 2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指す

<③ あいち地球温暖化防止戦略2030(改定版)のポイント>

① 温室効果ガス排出量の削減目標を引き上げ

2030年度の県内の温室効果ガス総排出量の削減目標を、2013年度比で、これまでの26%減から46%減に大幅に引き上げ、2050年までにカーボンニュートラル愛知の実現(千t-CO₂)を目指す。

(単位: 千t-CO ₂)	2013年度 排出量	2030年度	
		排出量	2013比
エネルギー 起源CO ₂	40,153	26,246	▲34.6%
業務部門	12,072	3,721	▲69.2%
家庭部門	8,584	1,922	▲77.6%
運輸部門	13,327	7,171	▲46.2%
エネ転換部 門	2,435	1,885	▲22.6%
非エネルギー 起源CO ₂	2,225	1,764	▲20.7%
その他ガス	3,588	2,105	▲41.3%
吸収源	-	▲330	-
合計	82,384	44,483	▲46.0%



※削減による削減効果42.7%削減の内訳
 ・国の施策による削減効果: 38.4%減
 ・県の追加的な施策による削減効果: 4.3%減

<④ 戦略2030改定版に基づく部門別の個別施策の体系(1)>

家庭部門対策

- 脱炭素型ライフスタイルへの転換の促進
- 家庭のエネルギー消費の削減
- 環境に配慮した住宅(ZEH等)の普及

産業・業務部門対策

- 事業者による脱炭素型の事業活動の促進
- 環境に配慮した建築物(ZEB等)の普及
- 脱炭素型の技術・製品・サービスの供給促進
- 農林水産業の省エネ化の促進
- 行政(県/市町村)による率先取組の推進

運輸部門対策

- 自動車使用に伴う環境負荷の低減
- 環境負荷の低い交通・運輸への転換の促進
- 空港・港湾・鉄道の脱炭素化への転換の促進

「地域」における脱炭素化

- 脱炭素プロジェクトの創出 **重点1**
- 環境負荷の小さな都市づくりの推進

<③ 戦略2030改定版に基づく部門別の個別施策の体系(2)>

「再生可能エネルギー」等の利活用の推進

- 再生可能エネルギーの導入促進
- 太陽エネルギーの有効活用
- 未利用資源・エネルギーなどの地域資源の活用
- 水素社会の実現に向けた取組の推進
- 環境・新エネルギー分野の産業振興の推進

その他の温室効果ガスの削減対策

- 資源投入量や消費量の抑制、廃棄物発生量の最小化
- フロン類の排出抑制
- メタンと一酸化二窒素の排出抑制

吸収源対策

- 森林の持つ多面的機能の発揮
- 吸収したCO₂の長期間貯蔵
- 身近な吸収源の確保
- 新たな吸収源の確保

脱炭素社会の形成に向けた人づくり

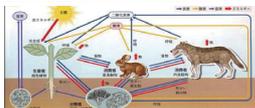
- 脱炭素型の価値観の形成
- 指導者や専門的な技術・知識を持つ人材の育成
- SDGsの達成に向けた人づくりの推進
- 海外との最新の知見の共有

II-(4) 生物多様性保全の必要性(生態系サービス)

○ 我々の暮らしは、生物からの様々な恵み(生態系サービス)に支えられている

基盤的サービス(人間が生存するために必要な基盤を整える)

- ・植物の光合成
 - CO2の吸収...温暖化の防止
 - 酸素供給
- ・動植物に必要な栄養素の循環



調整的サービス(人間生活の安心・安全性を長期的・効率的に保証する)

- ・自然性の高い森林を守り、無理な開発を避け、人工林の管理水準を高める
 - 洪水の制御や災害の防止
 - 気温・湿度の調整など気候変動の緩和
 - 水質の保全や水源地の汚染防止など安全な水の確保



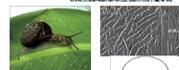
文化的サービス(豊かな文化の根源となる)

- ・日本人は、自然と順応して様々な知識、技術、豊かな感性や美意識を培い、多様な文化を形成した
 - 料理/食材・酒(地酒、鰻寿司、明石の蛸など)
 - 木の文化、水の文化
 - 祭り、民謡など



供給的サービス(人間にとって有用な価値を持つ)

- ・生物を食糧や材料として利用
- ・生物を工業材料、医薬品、燃料等として利用
- ・技術開発のヒント(バイオミミクリー)



(参考) 生物から得られた医薬品

- ・現在、世界で処方されている薬の薬40%は自然界から得られている(植物;24%、微生物;13%、動物;3%)
- 鳥インフルエンザ治療薬(タミフル)→八角
- 抗腫瘍治療薬(ピンズラスチン等)→ニチニチソウ
- 小児白血病治療薬→パライロツルニチニチソウ(生存率20%から80%に上昇)
- 抗ガン剤(タキソール)→イチイ



八角(タミフルの原料) ニチニチソウ

<① 生物多様性保全の取組(愛知目標、昆明・モントリオール枠組)>

<愛知目標・ターゲット>

- 平成22年10月(2010年10月)に名古屋市で開催されたCOP10において、生物多様性の保全を図る目標として、長期目標、短期目標、20の個別目標からなる「愛知目標・ターゲット」が採択された。

<昆明・モントリオール生物多様性枠組み>

- 2022年12月モントリオールで開催されたCOP15で採択された。(枠組みの概要)
- ・2050年ビジョン 自然と共生する世界(愛知目標と共通目標)
- ・2030年ミッション 生物多様性を保全し、持続可能に利用し、遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分を確保しつつ、必要な実施手段を提供することにより、生物多様性の損失を止め反転させ回復軌道に乗せるための緊急行動をとる。
- ・2030年ターゲット(1~23)
 - ・ターゲット③:2030年までに陸と海のそれぞれ30%以上を保護・保全(30by30)
 - ・ターゲット⑥:2030年までに侵略的外来種の導入率・定着率を半減
 - ・ターゲット⑩:自然を活用した解決策等を通じた気候変動の生物多様性への影響を最小化

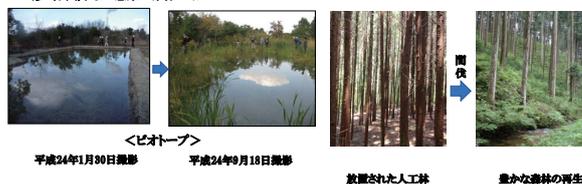
<参考>生態系ネットワーク形成のイメージ等

(参考)生態系ネットワーク形成のイメージ



(過去) 地域本来の生態系 (現在) 開発等により生態系が分断・孤立化し、生物の生息環境が急激な状態 (将来) 湿地や水辺等が適切に位置され、生態系ネットワークが形成された状態

(参考)良好な生態系の確保のイメージ



<ビオトープ> 平成24年1月30日撮影 平成24年9月18日撮影 放棄された人工林 豊かな森林の再生

III 一人ひとりの身近な取組(例①)

項目	取り組み(例)	関連するSDGs
1 飲食	・食事にはできる限り地元の食材を使う ・買い過ぎず、使い切る、食べきる(食べ残さない)	2 気候変動に具体的な対策を、12 持続可能な消費と生産、14 海の豊かさを守ろう
	・割り箸をやめてマイ箸の利用	12 持続可能な消費と生産、15 陸の豊かさを保ち増進させる
2 エネルギー	・太陽光発電施設の導入	7 持続可能なエネルギー、13 気候変動に具体的な対策を
	・省エネ型の冷蔵庫の導入 ・照明器具をLED化	13 気候変動に具体的な対策を、11 持続可能な都市とコミュニティ
	・冷暖房温度は適正に設定 ・TVや照明はこまめにオフ	13 気候変動に具体的な対策を、11 持続可能な都市とコミュニティ
3 水利用	・植栽の水まきは雨水を利用	6 安全な水と衛生、15 陸の豊かさを保ち増進させる

4 自動車運転・自転車利用	・洗面所は節水コマ ・トイレは節水型	6 安全な水と衛生
	・エコドライブの徹底 ・EV車、ハイブリッド車等利用	13 気候変動に具体的な対策を、11 持続可能な都市とコミュニティ
5 廃棄物の減少	・自転車の利用	13 気候変動に具体的な対策を、11 持続可能な都市とコミュニティ
	・ごみの分別 ・マイバックの利用	12 持続可能な消費と生産
6 施設と設備	・プラスチックの使用の抑制 ・詰め替え商品の利用	12 持続可能な消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう
	・日差しを遮る遮光ガラス ・夏は緑のカーテンの設置	15 陸の豊かさを保ち増進させる、13 気候変動に具体的な対策を、11 持続可能な都市とコミュニティ
7 公正な働き方	・障害者の職場受け入れ	3 持続可能な経済の発展、8 働きがいと経済成長、10 人や国の不平等をなくす
8 社会参加と交流	・町内行事(お祭り、清掃活動、見回り、防災)参加	11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナーシップで目標を達成しよう、16 公正な裁判と法の下の平等、4 質の高い教育をみんなに

一人ひとりの身近な取組(例②)

○ エシカル消費の拡大

* エシカル消費とは、環境、社会、人に優しい消費
 ⇒ エシカル消費の輪を広げることにより、「使い捨て」や「安価で大量生産」をよしとする消費一辺倒の経済活動のサイクルをかえることができる。

* エシカル消費の具体例

- ① 自然エネルギーの利用
- ② エコマーク付き製品の販売や購入
- ③ サステナブル・ラベル(国際認証ラベル)付きの商品の購入
- ④ 地産地消の拡大
- ⑤ エネルギー効率が良く寿命の長いLED電球の利用・普及
- ⑥ 障がい者が作った製品を購入 など



持続可能な社会を形成し、
 「生命の星・美しい星」地球を
 未来に引き継ぐために

一人ひとりが日常生活において
 できることから取り組む！！

ご聴講、ありがとうございました。

授業③

『多文化共生社会 (Multicultural Coexistence Society)』を実現させよう



講師 佐藤 久美

(名古屋国際工科専門職大学教授)

2023.07.29
高校生夏休み国際理解教育特別講座

多文化共生社会 (Multicultural Coexistence Society) を実現させよう

佐藤 久美
名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授
「あいち国際女性映画祭」イベントディレクター

1

1. 「多文化共生社会」 皆さんに考えていただきたいこと

(1) 「多文化共生」はなぜ必要でしょうか？
日本で「多文化共生」という言葉が使われるようになったのはいつからでしょうか。
そのきっかけは何だったのでしょうか。

(2) 日本に住む外国人住民が増加している理由は何でしょうか？
何ヶ国の人々が住んでいるのでしょうか。どの国から来た人が多いのでしょうか。
愛知県に多いのはどこの国の人？
なぜ、日系人が世界中に住んでいるのでしょうか？

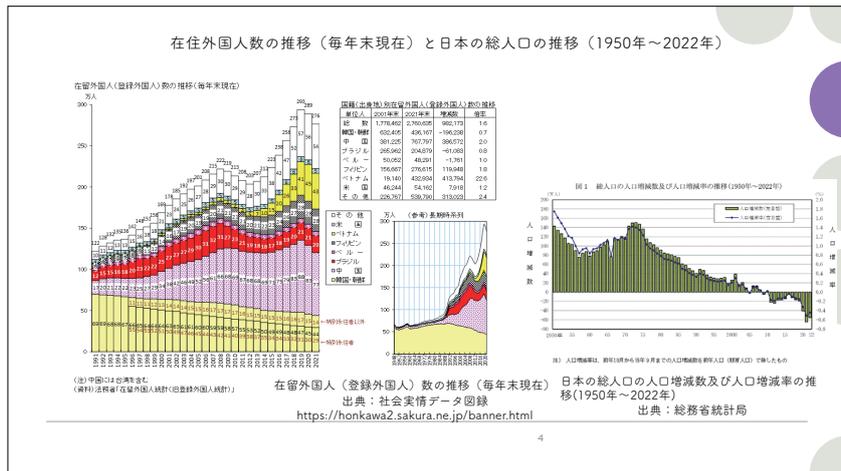
2

1. 「多文化共生社会」 皆さんに考えていただきたいこと

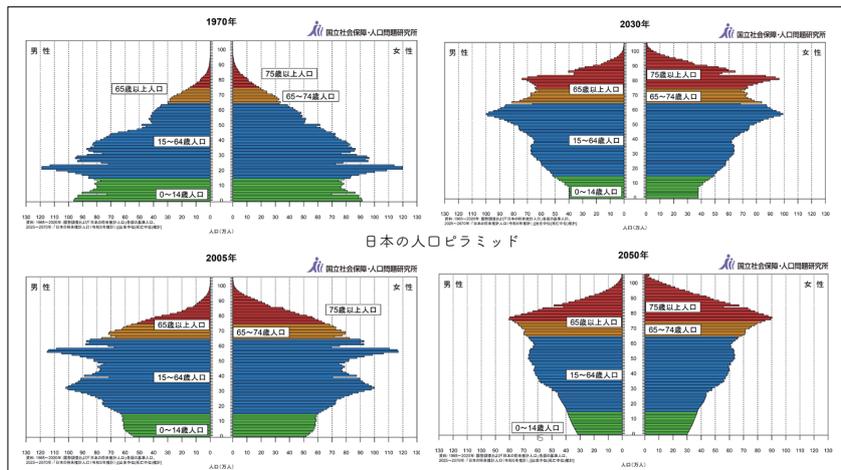
(3) 「多文化共生」と「国際交流」の違いは何でしょうか？

(4) 多文化共生社会を築くためにあなたのできることは何でしょうか？

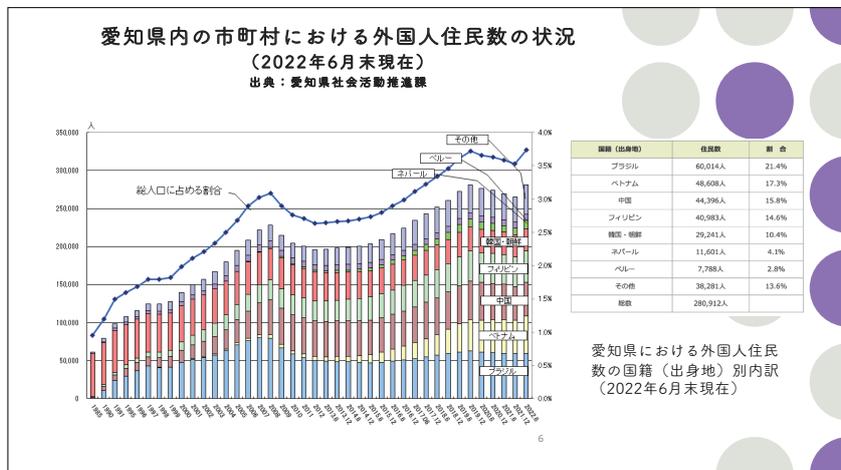
3



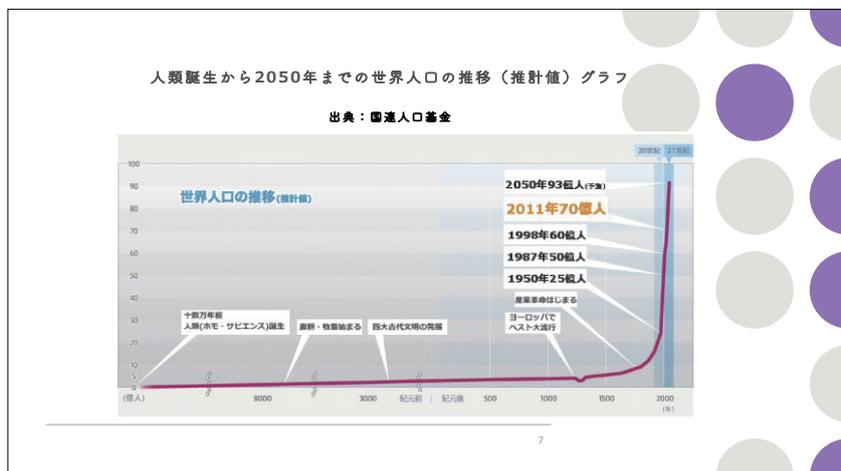
4



5



6



7

2. 「文化 (culture)」と「文明 (civilization)」の違いと共通点、

「文明」と「宗教」について考えよう。

(1) 「文化」とは何だろう。「文明」と「宗教」との関わりについて考えよう。

文化 : culture ← cultivate

the beliefs, way of life, art, and customs that are shared and accepted by people in a particular society --Longman (英英辞書) より抜粋

culture はラテン語の cultura から来ている。

cultura の語幹は colere : 「守る、手入れをする、耕す」という意味。19世紀に入ってから 文明の知的な側面や、人々の生活様式などを含む意味を持つようになった。(心を耕す)

日本でも、田畑を耕し、そこから恵みが与えられることは神への信仰の中心にある。

世界のどの地域でも、私たちに命を与えてくれる「食べ物」には、神への深い感謝を持つ。

2. 「文化 (culture)」と「文明 (civilization)」の違いと共通点、「文明」と「宗教」について考えよう。

文明 : civilization ← civilize

- to influence someone's behaviour, making or teaching them to act in a more sensible or gentle way
- to improve a society so that it is more organized and developed, and often more fair or comfortable

--Longman (英英辞書) より抜粋



文明と世界秩序

「文明の衝突」

原題 : *The Clash of Civilizations and the Remaking of World Order*

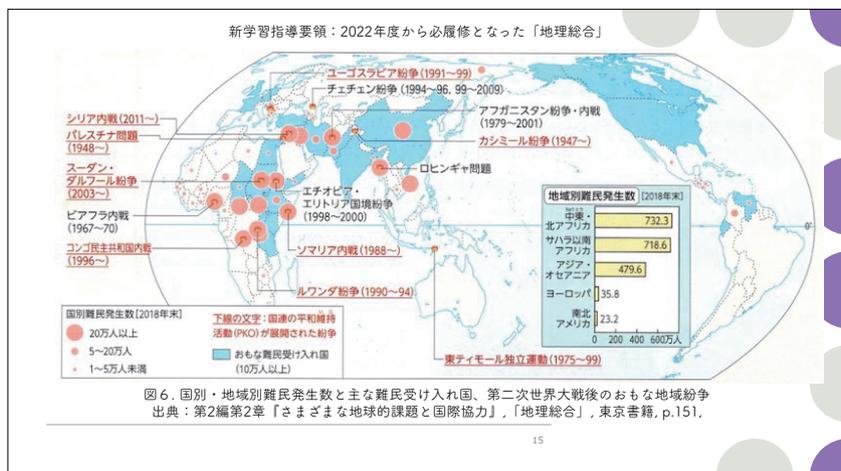
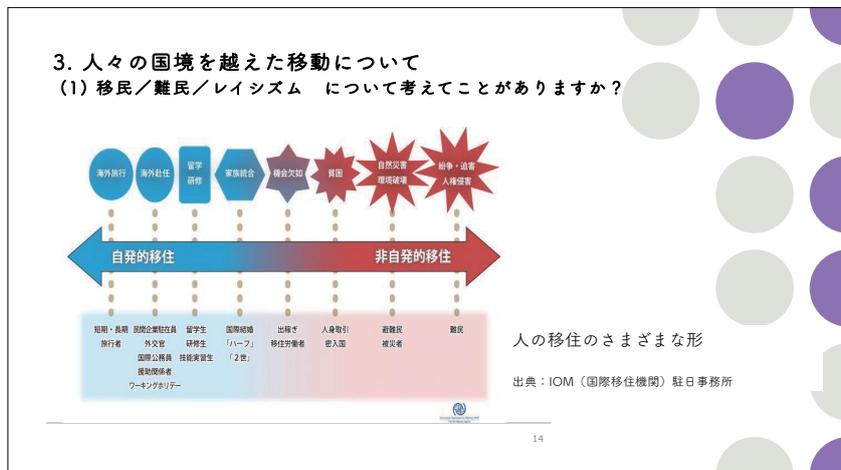
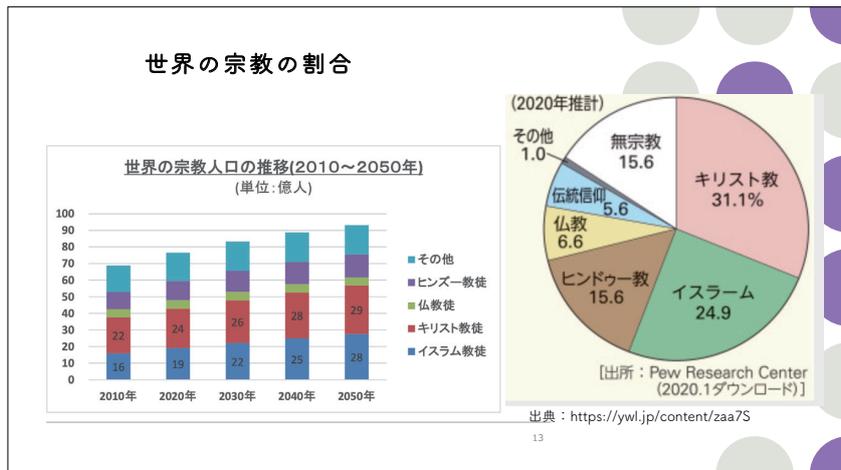
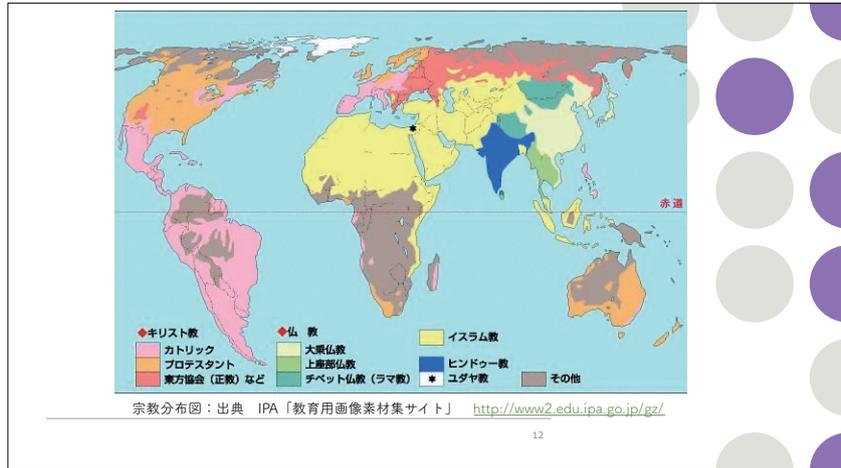
- (文明の衝突と世界秩序の再創造)。

- アメリカ合衆国の政治学者サミュエル・P・ハンティントンによる国際政治学の著作 (1996年)。
- 冷戦が終わった現代世界においては、文明と文明との衝突が対立の主要な軸である。
- 特に文明と文明が接する断層線 (フォルト・ライン) での紛争が激化しやすいと指摘。

(2) 必要とされる宗教間の理解と協力：あなたのできることは何だろう

「文明の衝突」の内容：

- 冷戦から文明の衝突 (宗教の違いから) へ？
- ソ連や東ヨーロッパ諸国の社会主義体制が相次いで崩壊していったことで、冷戦という世界を二分する緊張関係は緩和された。
- しかしその結果、紛争や戦争のない平和な世界が実現されたかという点、そうはならなかった。
- さまざまな地域や国のなかで、民族紛争や宗教紛争といわれる争いが頻発するように。
- → 衝突の争点が悪化した。
- → 新しい形の世界戦争になりかねない。



3. 人々の国境を越えた移動について

(2) 難民申請をしながら日本で働く難民たち

先進国の人口問題 先進国では、出生率の低下と平均寿命の伸びによって、少子化・高齢化が進んでいる(図④・⑤)。高齢化が進むと高齢者に比べて若年者が少ない状態になるため、これまでのように若年者が高齢者を支えるという社会のしくみを維持することが難しくなる。また、高齢者の生活を支えるための介護や医療の施設を増やしたり(写真⑦)、既存の施設のバリアフリー化を進めたりする必要もある。さらに若年者が減ることで、産業を支えてきた労働力も不足ようになるため、先進国では労働力としての移民の受け入れが進んでおり、文化的な背景が異なる人々との共存という別の課題に直面している。



↑ ⑧ 難民申請をしながら日本で働くクルド人難民(千葉県, 2015年)

出典: 『第2部 国際理解と国際協力』, 高等学校「新地理総合」, 帝国書院, p.169

3. 人々の国境を越えた移動について

(3) 映画から学べる移民/難民/レイシズム

「あいち国際女性映画祭(AIWF)」 世界各国・地域の女性監督による作品、女性に着目した作品を集めた、国内唯一の国際女性映画祭で毎年9月に開催。毎年約40本の映画を上映。国際交流企画では「名古屋難民支援室」と共同企画として主に難民をテーマにした映画を上映し上映後に監督とともにシンポジウムを開催。進行役を佐藤久美が務める。

あいち国際女性映画祭2022
『マイスモールランド』(監督: 川和田恵真)

上映後のシンポジウム
『川和田監督と考える
祖国から逃れて暮らす人々の居場所』

ゲスト: 川和田監督、羽田野真帆さん(名古屋難民支援室コーディネーター)
進行役: 佐藤久美

国際交流企画
名古屋難民支援室&AIWF共同企画
シンポジウム
『川和田監督と考える
祖国から逃れて暮らす人々の居場所』

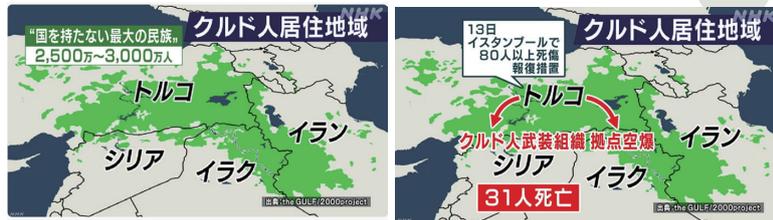
『マイスモールランド』上映後

ゲスト
川和田恵真監督
羽田野真帆さん
(名古屋難民支援室コーディネーター)

進行役: 佐藤久美
(国際女性映画祭イベントディレクター)

『マイスモールランド』を上映後にシンポジウムを開催。

日本に暮らすクルド人の少女が主人公。日本の高校に通う在日クルド人の少女が、在留資格を失ったことをきっかけに自身の居場所に葛藤する姿を描いた社会派ドラマ。



出典: NHK国際報道の記事(2022年11月24日)
<https://www.nhk.jp/p/kokusaihoudou/ts/> (2023.07.18閲覧)

クルド人とは、古代以来の長い歴史を持つが、民族国家の実現ができていない。2010年ごろから、シリア内戦の中で実質的な自治をめざす運動が強まっている。2019年以降、トルコのクルド人勢力掃討作戦は激化の様相を呈している。日本には現在約2000人のクルド人が移り住んでいて、埼玉県の大里市や川口市、東京、大阪、名古屋などの大都市にそのコミュニティが存在する。彼らは難民申請しているが日本で難民認定されるのは難しい。

3. 人々の国境を越えた移動について

(3) 映画から学べる 移民/難民/レイシズム

あいち国際女性映画祭2019
『僕の帰る場所』(監督: 藤元明緒)

ミャンマーからやって来た東京に住む家族の物語。二つの国の間で揺れ動く少年の心を描く。

上映後のシンポジウム
『日本の難民支援について考えよう』
ゲスト: 藤元監督、羽田野真帆さん
進行役: 佐藤久美

名古屋難民支援室&AIWF 共同企画

8 僕の帰る場所 Passage of Life ドラマ
日本、ミャンマー/2017年/98分

9月5日(木) 15:20 / 大会議室 監督: 藤元明緒
出演: クウ/ミヤコトコ、ケイン/ミヤコトコ
配給: E×N

監督来場予定 9月7日(土) 難民申請でも上映します。

第30回東京国際映画祭(2017)「アジアの未来部」部門出品 同部門の作品及び国際交流基金アジアセンター特別賞受賞

東京の小さなアパートに住むミャンマーからやって来た母ケインと幼い二人の兄弟。入国管理前に捕まった夫アイゼに代わり一人で家族を支えるケイン。日本で育ち、母国語を話せない子供達にケインは慣れない日本語で愛情を注ぐが、兄弟は父に会えないストレスでいつも喧嘩ばかり。ケインは、これからの生活を不安を抱き、ミャンマーに帰りたい思いを募らせていく。

シンポジウム「日本の難民支援について考えよう」
9月5日(木) 17:15 / 大会議室 (入場無料)

進行役: 佐藤久美 (金城学院大学教授、国際女性映画祭イベントディレクター)
藤元明緒さん(『僕の帰る場所』)と羽田野真帆さん(名古屋難民支援室コーディネーター)をお迎えし、日本とミャンマーを舞台にした映画『僕の帰る場所』の製作秘話や難民支援についてお話しいただきます。

3. 人々の国境を越えた移動について

(3) 映画から学べる移民／難民／レイシズム

あいち国際女性映画祭2021
「すぐそばにいたTOMODACHI」
(監督：セシリア亜美 北島)



上映後のシンポジウム
「ミャンマー情勢と難民の「今」を考える」

ゲスト：セシリア亜美 北島監督 オンライン登壇
北角裕樹さん オンライン登壇
(ヤンゴン編集プロダクション代表)
羽田野真帆さん オンライン登壇
進行役：佐藤久美

2011年3月11日に発生した東日本大震災後に、被災地に赴きボランティアを行った在日ヒルマ人95人を追ったドキュメンタリー映画。

20

20

4. 多文化共生とSDGs（持続可能な開発目標）

多文化共生の実現は、国連が採択した「持続可能な開発目標」（SDGs）の多くの項目とも合致しています。どの項目でしょうか。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



21

21

5. 「多文化共生」の重要な要素

- ・ 文化的多様性の尊重: 多文化共生は、異なる文化や価値観を持つ個人やグループを尊重することを促進します。人々が自身の文化的アイデンティティを自由に表現し、共有することができる社会では、個々の人々が認められ、尊重される機会が増えます。
- ・ 相互理解と対話の促進: 多文化共生は、異なる文化間の相互理解と対話を促進します。異なる文化を持つ人々が交流し、意見や経験を共有することによって、相互の認識や理解が深まります。これにより、偏見や誤解を減らし、対立や摩擦を回避することができます。
- ・ 社会の活性化と創造性の向上: 多文化共生は、異なる文化や背景を持つ人々が集まることによって、社会の活性化と創造性の向上をもたらします。異なるアイデアや視点が交錯する環境では、新たなアイデアや発見が生まれやすくなります。異なる文化からの影響を受けることで、芸術や文学、科学などの領域での創造性が豊かになる可能性があります。
- ・ 経済的な利益: 多文化共生は、経済的な利益をもたらすことがあります。異なる文化や国籍を持つ人々が集まることで、新たな市場やビジネスの機会が生まれる可能性があります。また、異なる文化に関する知識やスキルを持つ人材が求められる場合には、多様な人材を抱える社会が競争力を持つことができます。

これらの理由から、異なる文化や背景を持つ人々が共存し、相互に学び合い、尊重しあうことで、より包括的で豊かな社会を築くことができます。

22

22

Question:

地震などの大災害が発生しました！あなたの周りにいる外国人はどんなことで困っているでしょう。あなたは那些人たちにどのような支援ができるでしょうか。

Answer:

23

23